

採用担当者はオープンソースのプロフェッショナルを求めている

- オープンソース・ジョブズ・レポート2020



採用担当者の81%がオープンソース人材の採用を優先すると回答



採用担当者の56%が、今後6ヶ月以内にオープンソースプロフェッショナルの採用を増やすことを計画している



採用担当者の57%が、認定資格者の採用を優先すると回答し、2018年の47%から大きく上昇



雇用者の80%が、従業員がオープンソースソフトウェアを学ぶためのオンライントレーニングコースを提供していると回答しています。



採用担当者の62%が資格取得者を採用する可能性が高く、2018年の47%から増加しました。



採用担当者の93%が、オープンソースのスキルを持つ十分な人材を見つけることが困難であると報告しています。

Linux Professional Institute (LPI) 認定資格は、スキルがあることを主張するのではなく、それを証明するものです。

証明された資格は、履歴書の山の頂点に立ち、採用担当者のホットリストに載ります。

もちろん、人事部のファイアウォールを通過する最短の方法であることは言うまでもありません。

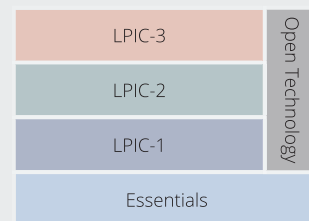
LPIのベンダーニュートラルな認定資格は、オープンソースソフトウェアの多用途性を示しています。

これらの資格に合格すると、特定のベンダーの技術に制限されることなく、複数のオープンソース技術を扱うことができるようになり、実際の仕事で経験する環境を反映させることができます。

LPIは詳細な試験目的を提供しているため、試験準備の時間をより効率的に使うことができます。

LPIは、世界中でプロフェッショナルを認定しています。国際的に認知された基準であるため、世界中で求められるスキルを身につけ、キャリアを積むことができます。

LPI認定資格一覧を見る



lpi.org/certifications

LPIは非営利団体です

Linux Professional Institute (LPI) は、オープンソースプロフェッショナルのためのグローバルな認定基準およびキャリア支援組織です。

20 万人以上の試験保有者を擁する、世界初かつ最大のベンダーニュートラルな Linux およびオープンソースの認定機関です。LPI は、180 カ国以上でプロフェッショナルを認定し、多言語で試験を実施し、数百のトレーニング パートナーを擁しています。私たちの目的は、オープンソースの知識とスキルの認定を普遍的に利用できるようにすることで、すべての人に経済的・創造的な機会を提供することです。

Linux Professional Institute Japan

Linux Professional Institute (LPI) 日本支部

☎ 03-5826-8491 ✉ info-ja@lpi.org

🌐 www.lpi.org/ja/

📘 www.facebook.com/LPIConnectJA/

✂ x.com/LPIConnectJA

2023/11



LINUX ESSENTIALS

Linux Professional Institute (LPI) 認定を受けたプロフェッショナルは、仕事においてより良い成果を上げています。より高い報酬の仕事を得て、キャリアを向上させ、より多くの選択肢、柔軟性、スキルのポータビリティを得る可能性が高くなります。これは、LPIがオープンソースプロフェッショナルのための世界的な認定基準およびキャリア支援組織であることを考慮すれば、驚くことではありません。



Linux
Professional
Institute

次の仕事や昇進に必要な基礎的なスキルを持っていることを雇用主に示すことができる

個人ユーザー、政府機関、自動車から宇宙開発まで幅広い産業がオープンソーステクノロジーを採用し、Linux の導入が世界的に増え続けています。

企業におけるオープンソースの拡大により、従来の情報通信技術 (ICT) の職務が再定義され、Linux のスキルがより一層求められるようになっていきます。

オープンソース分野でキャリアをスタートさせる場合も、昇進を目指す場合も、自分のスキルセットを独自に検証することで、採用担当者や経営陣にアピールすることができます。

また、Linux Essentials 認定資格は、Linux システム管理者向けのより高度な LPIC プロフェッショナル認定トラックへの理想的な足がかりとなります。

Linux Essentials 認定資格を取得するには、Linux およびオープンソース業界に関する理解と最も人気のあるオープンソースアプリケーションの知識、Linux オペレーティングシステムの主要コンポーネントを理解し、Linux コマンドラインで作業できる技術力、ユーザーおよびグループ管理、コマンドラインでの作業、パーミッションなどのセキュリティおよび管理関連のトピックに関する基本的な理解を持っていることが条件となります。



試験コード 010-060 (バージョン1.6)

前提条件 なし、誰でも受験可能

試験形式 40問/60分

有効期間 ライフタイム

詳細: lpi.org/linux-essentials

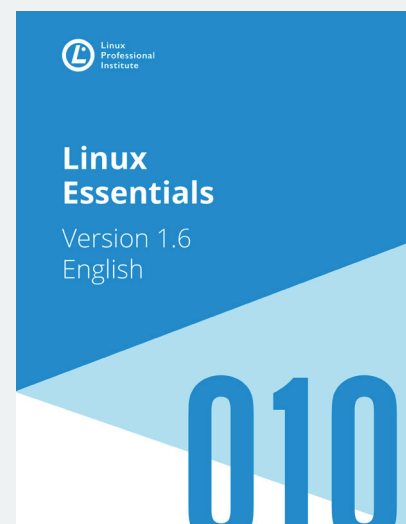
Open Source Jobs Report 2020によると、採用担当者の81%がオープンソース人材の採用を優先すると回答しており、認定資格を保有するオープンソース専門家を探す傾向がこれまで以上に強まっているとのことです。

学習教材について

Learning は Linux Professional Institute (LPI) の取り組みで、Linux およびオープンソースの認定資格の取得に向けた準備をサポートするものです。

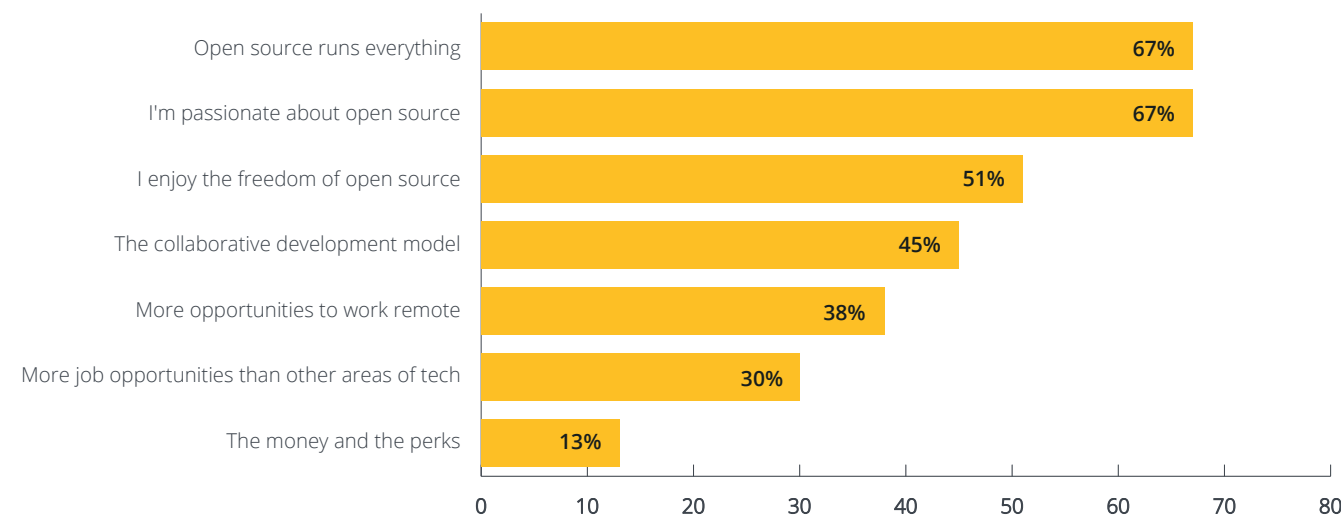
ラーニングマテリアルでは、講師や学習者向けに無料の教材を継続的に発行しています。Linux Professional Institute Publishing Partner (LPP) プログラムでは、商用および無償の出版プラットフォームとの協力関係を透明なものにします。

詳しくはこちら: learning.lpi.org



プロフェッショナルがオープンソースのキャリアを選ぶ理由

- オープンソース・ジョブズ・レポート2020



試験の内容を推測で理解する

試験の目的は、試験で出題される可能性のあるトピックと、それらのトピックの相対的な重要性を示しています。

Linux Professional Institute (LPI)の試験対策として、どのような学習教材を選択する場合でも、各試験の出題範囲に目を通すことは、学習計画の中核となるものです。



試験科目



- 1: Linux コミュニティとオープンソースでのキャリア
- 2: Linuxシステムで自分の道を切り開く
- 3: コマンドラインの威力
- 4: Linux オペレーティングシステム
- 5: セキュリティとファイルパーミッション



ハリウッドはLinuxで動く

アニメーションや特殊効果の主要なOSとしてLinuxに依存していない大規模なスタジオを見つけるのは困難です。